

建設アスベスト給付金

請求書等の様式集

《通常請求用》

目次

様式名	様式番号	様式集の ページ
特定石綿被害建設業務労働者等に対する 給付金等請求書① (通常請求用)	通－様式 1－1～3	1
請求書添付書類等一覧表 (特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等 通常請求用)	通－様式 2－1～3	4
就業歴等申告書 (通常請求用)	通－様式 3・続紙・別紙	7
診断 (意見) 書 【中皮腫用】	共－様式 1	10
診断 (意見) 書 【肺がん用】	共－様式 2	11
診断 (意見) 書 【石綿肺用】	共－様式 3	12 (両面)
診断 (意見) 書 【びまん性胸膜肥厚用】	共－様式 4	13
診断 (意見) 書 【良性石綿胸水用】	共－様式 5	14

各様式はキリトリ線で切りとって使用して下さい。

特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等請求書①（通常請求用）

厚生労働大臣 殿

下記のとおり、特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等の支給に関する法律による給付金の支給を請求します。

請求者氏名

年 月 日 ※1（代理人氏名）

※1～4 代理人を選任する場合、代理人の情報を並記願います。

1. 請求者の情報

フリガナ		生年月日
請求者氏名	※2（代理人氏名）	(明治・大正・昭和・平成・令和) 年 月 日生
フリガナ		
請求者住所又は居所	〒 - ※3代理人住所 〒 - 電話番号 () ※4（代理人電話番号 - -)	

※万一、請求者の方が本給付金等の支給の権利の認定・不認定の通知がなされるまでに死亡した場合には、本請求書による請求は無効となります。なお、当該場合には、特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等の支給に関する法律第3条第2項及び第3項に基づき遺族の方（本請求の請求者を除く。）が御自身の名前で改めて請求を行っていただくことになります。

2. 被災者の情報

フリガナ		生年月日
被災者氏名		(明治・大正・昭和・平成) 年 月 日生
被災者がお亡くなりになっている場合	請求者と被災者との続柄	請求者より先順位の遺族の有無
		☐ 無 ☐ 有（遺族氏名：)
労働者災害補償保険法による保険給付の支給決定状況 ※石綿による健康被害の救済に関する法律による 特別遺族給付金の支給決定状況を含む		☐ 支給決定あり ☐ 不支給決定あり ☐ 請求予定又は請求中 ☐ 請求予定なし
(支給決定あり又は不支給決定ありの場合)		
決定年月日 (支給・不支給)	(平成・令和) 年 月 日	決定した 労働基準監督署長 _____労働基準監督署長
(独立行政法人環境再生保全機構) 石綿による健康被害の救済に関する法律による 救済給付の認定決定状況		☐ 認定決定あり ☐ 不認定決定あり ☐ 申請予定又は申請中 ☐ 申請予定なし
(認定決定又は不認定決定がある場合)		
決定年月日 (認定・不認定)	(平成・令和) 年 月 日	認定を受けた 疾病 ☐ 中皮腫 ☐ 肺がん ☐ 著しい呼吸機能障害を伴うびまん性胸膜肥厚 ☐ 著しい呼吸機能障害を伴う石綿肺

請求する区分 【 】		※以下の①～⑦から該当する番号を1つ記載	
①石綿肺管理 2（相当を含む）でじん肺法所定の合併症なし ②石綿肺管理 2（相当を含む）でじん肺法所定の合併症あり ③石綿肺管理 3（相当を含む）でじん肺法所定の合併症なし ④石綿肺管理 3（相当を含む）でじん肺法所定の合併症あり ⑤以下のいずれか（該当するものを1つ選択） ☐ 中皮腫 ☐ 肺がん ☐ 著しい呼吸機能障害を伴うびまん性胸膜肥厚 ☐ 石綿肺管理 4（相当を含む） ☐ 良性石綿胸水 ⑥以下のいずれかを原因として死亡（該当するものを1つ選択） ☐ 石綿肺管理 2（相当を含む）でじん肺法所定の合併症なし ☐ 石綿肺管理 3（相当を含む）でじん肺法所定の合併症なし ⑦以下のいずれかを原因として死亡（該当するものを1つ選択） ☐ 石綿肺管理 2（相当を含む）でじん肺法所定の合併症あり ☐ 石綿肺管理 3（相当を含む）でじん肺法所定の合併症あり ☐ 中皮腫 ☐ 肺がん ☐ 著しい呼吸機能障害を伴うびまん性胸膜肥厚 ☐ 石綿肺管理 4（相当を含む） ☐ 良性石綿胸水			
(請求する区分が⑥又は⑦の場合)			
死亡年月日	(昭和・平成・令和)		備考（請求期限）※記載不要
	年	月	日
(請求する区分が①～⑤の場合)			
請求する疾病にかかったと 医師に診断された日	(昭和・平成・令和)		備考（請求期限）※記載不要
	年	月	日
(全ての請求区分)			
じん肺管理区分決定の有無	☐ 有 ☐ 無	合併症の有無	☐ 有（疾病名： ） ☐ 無
じん肺管理区分決定年月日 ※じん肺管理区分決定がない場合には、 請求する区分の管理区分に相当する旨の 医師の診断日	(昭和・平成・令和)		備考（請求期限）※記載不要
	年	月	日
(請求する区分が⑤又は⑦で肺がんを選択した場合)			
被災者の喫煙の習慣の有無	☐ 無 ☐ 有（喫煙 1 日平均 本、喫煙期間 年 月～ 年 月）		

(次のページにお進み下さい)

(注意) 故意に虚偽の内容を記載する等の不正の手段により給付金の支給を受けた場合には、不正に受給した金額の返還を行う必要があります。また、詐欺罪として刑罰に処せられることがあります。

4. 損害賠償金、和解金、補償金等の受取状況

(通) - 様式 1 - 3)

※名称の如何を問わず本請求と同一の原因に基づく損害賠償金や和解金、補償金等の請求や受領を行っている、又は、行ったことがある方は記入して下さい。

国に対する訴訟情報	提訴裁判所名		事件番号		原告番号	
企業等に対する請求情報	請求先の商号、名称又は氏名		請求額		円	
	※現時点で請求中又は訴訟係属中の損害賠償金や和解金、補償金等について記載して下さい。					
企業等からの受取情報 ※既に支払を受けた損害賠償金 や和解金、補償金について 記載して下さい。	支払者の商号、名称又は氏名		受領額		円	
	受領した者の氏名		被災者との続柄			
	受領日		年	月	日	
	(受領額の内訳※内訳がある場合記載して下さい。)					
	元本	円	遅延損害金	円	弁護士費用その他	円

5. 振込を希望する金融口座 (※請求者本人又は代理人弁護士の口座をご指定下さい。)

フリガナ																金融機関コード	
金融機関名	銀行 ・ 信用金庫 その他 ()																
フリガナ																	支店コード
支店名	本店 ・ 支店 支所 ・ 出張所																
口座番号																預金種目	普通 ・ 当座 ・ 貯蓄
フリガナ																	
口座名義																	

※フリガナは、濁点・半濁点も1文字として記載して下さい。

6. 個人情報の取扱い

本請求書に記載された情報、請求者から提出された本請求に関する資料及び行政機関が保有する本請求に関する資料等の情報について、被災者の方が本請求の認定要件に合致するかなどを確認するために、医療機関、被災者の方がお勤めの企業（かつてお勤めであった企業を含みます。）などに、審査・認定に必要な限度で提供する場合があります。

☐ 上記について同意します。

☐ 上記について同意しません。

※同意いただけない場合には、認定要件に合致することが確認できないなどの影響が出る場合があります。

社会保険 労務士 記載欄	作成年月日・提出代行者・事務代理者の表示	氏名	電話番号 () -
--------------------	----------------------	----	---------------

請求書添付書類等一覧表
(特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等 通常請求用)

特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金の請求に関して、下記の請求書及び添付書類を提出して下さい。

請求者情報	フリガナ		生年月日	(明治・大正・昭和・平成・令和)
	氏名			年 月 日
	住所			
	請求 年月日			

※ 各添付書類の左上に書類番号を記載して下さい（順不同）。

※ 添付している書類欄に☑するとともに、書類番号を記入して下さい。

書類番号	書類の種類	☑	備考
1. 基礎資料			
	①請求書	☐	【必須】 特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等請求書①（通－様式1）を記載し、提出して下さい。
	①－2 委任状 又は成年後見人等であることを 証明する書類等	☐	【該当する場合必要】 請求者本人以外の方が①の請求書を記載する場合は、委任状又は成年後見人等であることを証明する書類、及び代理人又は成年後見人等の本人確認資料を必ず添付して下さい。 ※社会保険労務士が作成・提出・事務代理を行う場合には不要です。
	①－3 振込を希望する金融口座の 通帳又はキャッシュカードの写し	☐	【必須】 給付金の振り込み誤りを防ぐため、添付して下さい。 （※振込を希望する金融口座は請求者本人、成年後見人又は代理人弁護士の口座をご指定ください。）
2. 添付資料			
(1) 請求者のご本人確認に必要な書類 【必須】			
	②住民票の写し等 (請求者の氏名・生年月日・住所を 確認できる書類)	☐	原則、住民票の写しを添付して下さい。 ※1 婚姻や国籍変更などで提出書類に複数の氏名表記がある場合には住民票の写しに併せて戸籍抄本又は戸籍記載事項証明書のいずれかを添付して下さい。 ※2 請求者の方が外国人の場合で住民票の写しが用意できない場合には、旅券、その他の身分を証明する書類の写しを添付して下さい。
(2) 請求者が被災者の遺族である場合（被災者の方がお亡くなりになっている場合）に必要な書類			
	③戸籍謄本等	☐	【必須】 請求者と被災者との身分関係や請求者以外に給付金を受け取ることができる遺族の有無を確認するため、戸籍謄本等の資料を添付して下さい。
	③－2 事実婚であることを証明する書類	☐	【該当する場合必要】 住民票（続柄に「妻（未婚）」等と表示されているもの）の写し、民生委員発行の事実婚証明書などの事実上婚姻関係と同様の事情にあることが確認できる資料を添付して下さい。

(次のページにお進み下さい)

	④死亡届の記載事項証明書 (死亡の事実や死亡の原因が 確認できる書類)	☐	【原則必要】 死亡診断書又は死体検案書もしくは検視調書記載事項につ いての市町村長の証明書等を添付して下さい。 ※被災者に関する労災保険の遺族補償給付、石綿救済法の 救済給付（救済給付調整金、特別遺族弔慰金、特別葬祭料 に限る）、特別遺族給付金の支給決定や認定を受けている 場合は不要です。
(3) 被災者の方に労災保険給付・石綿救済法の特別遺族給付金の支給・不支給決定、 石綿救済法の救済給付の認定・不認定又はじん肺管理区分決定がある場合に必要書類【該当する場合必要】			
	⑤支給決定等を受けた事実がわかる資料	☐	各制度の支給決定や認定等がある場合には労災保険給付・ 石綿救済法の特別遺族給付金の支給・不支給決定に係る 「支給決定通知書」や石綿救済法の救済給付に関する「認 定等の結果通知」、じん肺法に基づく「じん肺管理区分決 定通知書」などの写しを添付して下さい。 ※お手元に無い場合は提出不要です。
(4) 被災者の方の就業歴及び石綿ばく露作業への従事を証明する資料【必須】			
	⑥被災者の方の就業歴 ・石綿ばく露作業歴のわかる資料	☐	就業歴等申告書（通－様式3及び続紙）及び別紙（通－様 式3別紙）を記載し、添付して下さい。 また、被保険者記録照会回答票（年金の加入履歴）などの 就業歴や作業歴が確認できる資料を添付して下さい。 中小事業主等・一人親方等の期間を有する場合には、当該 事実が確認できる資料（特別加入承認通知書、労働者名簿 等）があれば添付して下さい。
(5) 請求する区分の石綿関連疾病にり患していることを証明する資料【原則必要】 ※請求する区分の疾病が労災保険給付・石綿救済法の特別遺族給付金の支給決定 又は石綿救済法の救済給付の認定を受けている石綿関連疾病と同様の場合には不要です。			
	⑦石綿関連疾病へのり患がわかる資料	☐	診断（意見）書（疾病により共－様式1～5）を添付して 下さい。
	⑦－2 診断の根拠となる資料 (り患した疾病にかかわらず必要な資料)	☐	エックス線画像、C T画像を添付して下さい。 また、石綿計測結果報告書や診療録の写し、その他検査結 果報告書があれば添付して下さい（検査を行っていない場 合は不要です。）。
	⑦－3 診断の根拠となる資料 (中皮腫にり患している場合に必要な資料)	☐	病理組織診断報告書、細胞診断報告書を添付して下さい。 ※どちらか1つの報告書は必ず添付して下さい。 また、可能な限り以下の標本も添付して下さい。 病理組織診断報告書の場合：H E 染色標本 細胞診断報告書の場合：パパニコロウ染色標本
	⑦－4 診断の根拠となる資料 (石綿肺（※）及びびまん性胸膜肥厚に り患している場合に必要な資料) ※じん肺管理区分が4又は これに相当するものに限る	☐	呼吸機能検査結果報告書を添付して下さい。
	⑦－5 診断の根拠となる資料 (良性石綿胸水に り患している場合に必要な資料)	☐	胸水の検査結果（性状、浸出液か漏出液かの鑑別のための 検査を含む生化学的検査、細胞診を含む細胞学的検査、細 菌学的検査、C E A、C Y F R A、A D A、ヒアルロン酸 値等）及び胸水貯留をきたす他の疾病の有無を示す医証 （既往歴・現病歴、リウマチ因子等の検査結果等）を添付 して下さい。

(次のページにお進み下さい)

(6) 企業等から損害賠償金や和解金などを受け取っている場合に必要資料【該当する場合必要】			
	⑧企業等からの受領金額等のわかる資料	☐	企業等から損害賠償金や和解金などを受け取っている場合には、判決内容のわかる書類や和解に関する合意書などの写し及び受領年月日のわかる資料の写し等を添付して下さい。
(7) その他の必要資料			
	⑨資料の日本語訳	☐	<u>【該当する場合必要】</u> 日本語以外で作成された資料がある場合には、必ず添付して下さい。

※提出が不要となっている資料等についても場合によっては、追加で提出を求めることがありますのでご留意願います。

〈厚生労働省への伝達事項〉

提出が必要とされている書類について提出ができない特別な事情がある場合には、下の欄にその旨を記載して下さい。

(以上)

就 業 歴 等 申 告 書 (通常請求用)

就業歴（石綿ばく露作業従事期間がないものも含む）について記載して下さい。

フリガナ			生年月日		り患した疾病名		1 枚目 / 枚中	
被災者氏名			年 月 日		☐ 中皮腫 ☐ 肺がん ☐ 石綿肺 ☐ 良性石綿胸水 ☐ 著しい呼吸機能障害を伴うびまん性胸膜肥厚			

就業歴

番号	事業場名	全在籍期間		石綿ばく露作業従事期間		吹付作業 (※)	屋内作業 (※)
1		年 月 ~ 年 月	年 ヶ月	年 月 ~ 年 月	年 ヶ月		
2		年 月 ~ 年 月	年 ヶ月	年 月 ~ 年 月	年 ヶ月		
3		年 月 ~ 年 月	年 ヶ月	年 月 ~ 年 月	年 ヶ月		
4		年 月 ~ 年 月	年 ヶ月	年 月 ~ 年 月	年 ヶ月		
5		年 月 ~ 年 月	年 ヶ月	年 月 ~ 年 月	年 ヶ月		
6		年 月 ~ 年 月	年 ヶ月	年 月 ~ 年 月	年 ヶ月		
7		年 月 ~ 年 月	年 ヶ月	年 月 ~ 年 月	年 ヶ月		
就業期間・石綿ばく露作業従事期間の詳細については（通 - 様式 3 別紙）のとおり・別紙 枚				小計①	年 ヶ月	続紙 小計②	

小計①と②の合計

※続紙がない場合は、小計①の値を転記して下さい。

年 ヶ月

記載枠が不足する場合には、本紙のコピーもしくは続紙に御記載の上、添付して下さい。

就 業 歴 等 申 告 書 (通常請求用・続紙)

就業歴（石綿ばく露作業従事期間がないものも含む）について記載して下さい。

フリガナ			生年月日		疾病名		枚目／ 枚中	
被災者氏名			年 月 日		☐ 中皮腫 ☐ 肺がん ☐ 石綿肺 ☐ 良性石綿胸水 ☐ 著しい呼吸機能障害を伴うびまん性胸膜肥厚			
就 業 歴	番号	事業場名	全在籍期間		石綿ばく露作業従事期間		吹付 作業 (※)	屋内 作業 (※)
			年 月 ～ 年 月	年 ヶ月	年 月 ～ 年 月	年 ヶ月		
			年 月 ～ 年 月	年 ヶ月	年 月 ～ 年 月	年 ヶ月		
			年 月 ～ 年 月	年 ヶ月	年 月 ～ 年 月	年 ヶ月		
			年 月 ～ 年 月	年 ヶ月	年 月 ～ 年 月	年 ヶ月		
			年 月 ～ 年 月	年 ヶ月	年 月 ～ 年 月	年 ヶ月		
			年 月 ～ 年 月	年 ヶ月	年 月 ～ 年 月	年 ヶ月		
			年 月 ～ 年 月	年 ヶ月	年 月 ～ 年 月	年 ヶ月		
			年 月 ～ 年 月	年 ヶ月	年 月 ～ 年 月	年 ヶ月		
(※) 吹付作業、屋内作業に該当する場合には、それぞれの欄に○印等のチェックを付けて下さい。					小計②	年 ヶ月		

小計①との合計を 1 枚目の
小計①と②の合計欄に記入して下さい。

就業歴の詳細について記載し、記載内容について、事業主もしくは（元）同僚などから証明を受けて下さい。

枚／ 枚

※石綿ばく露作業従事期間がない就業歴については、本別紙の記載は不要です。

就業歴番号		※就業歴等申告書（通－様式3及び続紙）に記載した就業歴のうち、該当するものの番号を御記入下さい。				
就 業 歴	事業場名・所在地 事業概要・雇用等形態	全在籍期間	石綿ばく露作業 従事期間	石綿ばく露作業の 職種・種類・頻度	石綿ばく露の状況 （作業の具体的内容・取扱建材等）	備考
	（事業場名）			職種	どのような作業（下記「（石綿ばく露作業の種類）」参照）を、どこ（建設現場内の作業箇所（屋内、屋外））で、どのような建築材料等（壁用のスレート材など）を用いて行っていた際に、どのような状況（石綿材を切断した際に飛散した粉じんを吸ったなど）で石綿にばく露したかを具体的に記載して下さい。	
	（所在地）	年 月	年 月	種類		
	（事業概要）	～ 年 月	～ 年 月	下記のア～キから選択。カ及びキの場合は具体的な内容を備考欄に記載。		
	（雇用等形態） ☐ 労働者 ☐ 一人親方 ☐ 中小事業主 ☐ その他（ ）	（ 年 ヶ月間）	（ 年 ヶ月間）	頻度	次の①、②について該当するものに○を付けて下さい。 ①吹付作業の有無： 有 ・ 無 ②作業箇所の屋内・屋外の別（※）： 屋内 ・ 屋外	

※屋根を有し、周囲の半分以上が外壁等しゃへい物に囲まれ、外気の流入が妨げられることにより、石綿粉じんが滞留するおそれがある、屋内と評価しうるものは屋内と見なします。

〈石綿ばく露作業の種類〉

- ア 石綿の吹付の作業 イ 石綿が使用されている保温剤、耐火被覆材等の張付け、補修若しくは除去の作業 ウ 石綿製品の切断等の加工作業
エ 石綿製品が被覆材又は建材として用いられている（石綿が吹き付けられたものを除く）建築物、工作物の補修又は解体、破碎等の作業
オ 石綿が吹き付けられた建築物、工作物の補修又は解体、破碎等の作業 カ 上記作業の周辺で間接的なばく露を受ける作業 キ その他の作業

（証明者欄）

上記のとおり相違ありません。 令和 年 月 日

証 明 者 被災者との関係： 事業主 ・ 同僚 ・ 取引先 ・ その他（ ）

住 所 ・ 所 在 地：

電 話 番 号：

事業場名・役職・氏名：

※証明者欄について事業主等からの協力が得られなかった場合は、証明者欄の役職・氏名欄に「事業主等の協力を得られない」旨及びその背景となる事情・理由（事業場の倒産、事業主等と連絡がとれない等）を記入して提出して下さい。なお、厚生労働省から、事業主等に連絡をさせていただく場合があります。

[中皮腫用] 診 断 (意 見) 書

患者の氏名 ・ 生年月日		(年 月 日生)		疾 病 名			
初診年月日		年 月 日		治 療 期 間		年 月 日 ～ 年 月 日	
主訴及び症状所見							
診断	病理検査	☐ 有 ☐ 無	☐ 組織診(☐ 生検 ☐ 剖検) 年 月 日実施 ☐ 細胞診(☐ 喀痰 ☐ 胸水) 年 月 日実施				
	組 織 型	☐ 上皮型 ☐ 肉腫型 ☐ 二相型 ☐ その他()					
	画像診断	[診断根拠] ☐ X線写真 ☐ CT画像 ☐ MR I ☐ その他()					
	病理診断	[診断根拠] ☐ 体腔液細胞診 ☐ 経皮穿刺生検 ☐ 内視鏡下生検 ☐ 手術 ☐ 剖検 ☐ その他() ☐ 免疫組織化学的染色検査(抗体)					
	他の悪性腫瘍を否定する所見						
胸膜プラークの所見		☐ 有 ☐ 無	[検査等の種類] ☐ X線写真 ☐ CT画像 ☐ 胸腔鏡 ☐ 手術 ☐ 剖検 [範囲・程度]				
石綿小体・石綿繊維の所見		☐ 有 ☐ 無 ☐ 計測等未実施	・石綿小体 ☐ 有 ☐ 無 ☐ 計測等未実施 ・石綿繊維 ☐ 有 ☐ 無 ☐ 計測等未実施 [有の場合は以下に記入] 計測等実施機関 乾燥肺重量1g当たり 石綿小体 本 [検体採取場所] ☐ 上葉 ☐ 中葉 ☐ 下葉 標準的な方法 ^(注) による計測でない場合は具体的な方法: 気管支肺胞洗浄液1ml中 石綿小体 本 肺組織切片中 ☐ 有 (石綿小体 本 石綿繊維 本) ☐ 無				
石綿肺の所見		☐ 有 ☐ 無	[所見の内容]				
既往症・基礎疾患							
患者の石綿ばく露歴と発症(死亡)との因果関係に関する意見							
その他参考となる事項							

(注)独立行政法人労働者健康安全機構・同環境再生保全機構発行の「石綿小体計測マニュアル」の最新版に示された方法

※ 根拠となった資料の写しを添付してください。

添付資料	☐ 診療録 ☐ 病理検査記録 ☐ 臨床検査結果 ☐ X線写真 ☐ CT画像 ☐ その他()
------	--

令和 年 月 日

厚生労働大臣 殿

病院
診療所

医師氏名

印

[肺がん用]

診 断 (意 見) 書

患者の氏名 ・ 生年月日		(年 月 日生)		疾 病 名			
初診年月日		年 月 日		治 療 期 間		年 月 日 ～ 年 月 日	
主訴及び症状所見							
診断	病理検査	☐ 有 ☐ 無	☐ 組織診(☐ 生検 ☐ 剖検) 年 月 日実施 ☐ 細胞診(☐ 喀痰 ☐ 胸水) 年 月 日実施				
	組 織 型	☐ 扁平上皮がん ☐ 腺がん ☐ 小細胞がん ☐ 大細胞がん					
	原 発 性	☐ 肯 ☐ 否	[鑑別根拠]				
胸膜プラーク の所見		☐ 有 ☐ 無	[検査等の種類] ☐ X線写真 ☐ CT画像 ☐ 胸腔鏡 ☐ 手術 ☐ 剖検				
			[有の場合はその程度]				
			☐ 胸部正面エックス線写真により胸膜プラークと判断できる明らかな陰影が認められ、かつ、胸部CT画像により当該陰影が胸膜プラークとして確認されるもの ^(注1)				
			☐ 胸部CT画像上で胸膜プラークを認め、左右いずれか1側の胸部CT画像上、胸膜プラークが最も広範囲に描出されたスライスで、その広がり胸壁内側の1/4以上のもの				
石綿小体・ 石綿繊維 の所見		☐ 有 ☐ 無 ☐ 計測等 未実施	・石綿小体 ☐ 有 ☐ 無 ☐ 計測等未実施 ・石綿繊維 ☐ 有 ☐ 無 ☐ 計測等未実施				
			[有の場合は以下に記入]				
			計測等実施機関				
			乾燥肺重量1g当たり 石綿小体 本 [検体採取場所] ☐ 上葉 ☐ 中葉 ☐ 下葉 標準的な方法 ^(注2) による計測でない場合は具体的な方法: 気管支肺胞洗浄液1ml中 石綿小体 本 肺組織切片中 ☐ 有 (石綿小体 本 石綿繊維 本) ☐ 無				
石綿肺の所見		☐ 有 ☐ 無	[所見の内容]				
びまん性胸膜肥厚の併発		☐ 有 ☐ 無	[所見の内容]				
既往症・基礎疾患							
患者の石綿ばく露歴と発症(死亡)との因果関係に関する意見							
その他参考となる事項							

(注1) 胸膜プラークと判断できる明らかな陰影とは、次のいずれかに該当する場合をいう。

- ・両側又は片側の横隔膜に、太い線状又は斑状の石灰化陰影が認められ、肋横角の消失を伴わないもの
- ・両側側胸壁の第6から第10肋骨内側に、石灰化の有無を問わず非対称性の限局性胸膜肥厚陰影が認められ、肋横角の消失を伴わないもの

(注2) 独立行政法人労働者健康安全機構・同環境再生保全機構発行の「石綿小体計測マニュアル」の最新版に示された方法

※ 根拠となった資料の写しを添付してください。

添付資料	☐ 診療録 ☐ 病理検査記録 ☐ 臨床検査結果 ☐ X線写真 ☐ CT画像 ☐ その他()
------	--

令和 年 月 日

厚生労働大臣 殿

病院
診療所

医師氏名

印

診 断 （ 意 見 ） 書

[石綿肺用]

患者の氏名 ・ 生年月日		(年 月 日生)	疾 病 名										
初診年月日		年 月 日	治 療 期 間	年 月 日 ～ 年 月 日									
主訴及び症状所見													
診断	胸部エックス線写真による検査	☐ 有 ・ ☐ 無 ☐ 未検査	 1. 撮影年月日 年 月 日 2. 写真番号 _____ 3. 撮影条件 _____ KV _____ mAs 増感紙 _____	4. エックス線写真の像 イ. 小陰影の区分(0/- 0/0 0/1 1/0 1/1 1/2 2/1 2/2 2/3 3/2 3/3 3/+) <table border="1"><tr><td>像</td><td>区分</td><td>タイプ</td></tr><tr><td>粒状影</td><td>/</td><td>p q r</td></tr><tr><td>不整型陰影</td><td>/</td><td></td></tr></table> ロ. 大陰影の区分（ A B C ） ハ. 付加記載事項（ pl plc co bu ca cv em es px tb ） ニ. 胸膜ブランク(右 左)	像	区分	タイプ	粒状影	/	p q r	不整型陰影	/	
		像	区分	タイプ									
		粒状影	/	p q r									
	不整型陰影	/											
	放射線画像による検査 胸部CT画像による検査	☐ 有 ・ ☐ 無 ☐ 未検査	1. 撮影年月日 年 月 日 イ. 胸膜下粒状影(右 左) ロ. 胸膜下線状影(右 左) ハ. 胸膜下分枝状影(右 左) ニ. 肺実質内帯状影(右 左) ホ. すりガラス陰影(右 左) ヘ. 胸膜下楔状影(右 左) ト. 小葉内網状影(右 左) チ. モザイク状陰影(右 左) リ. 蜂窩肺(右 左) ス. 胸膜ブランク(右 左)	2. その他の所見 									
		石綿肺の所見	☐ 有 ・ ☐ 無	[所見の内容]									
放射線画像上、初めて石綿肺所見を認めた時期 年 月頃													
石綿肺の確定診断年月日 年 月 日													
肺機能検査	☐ 有 ・ ☐ 無 ☐ 未検査	1.身 長 m 2.満 年 齢 歳											
		3.1秒量予測値 ℓ 4.肺活量予測値 ℓ											
		呼吸機能検査実施年月日 年 月 日検査		動脈血ガス測定検査の有無 ☐ 有 ☐ 無 (年 月 日検査)									
		肺 活 量 ℓ	採 血 の 部 位 _____										
		努 力 肺 活 量 ℓ	採 血 から 分析 終了 までの 時間 _____ 分										
		1 秒 量 ℓ	酸 素 分 圧 _____ Torr										
		1 秒 率 □□ . □ %	炭 酸 ガ ス 分 圧 _____ Torr										
% 1 秒 量 □□□ . □ %		肺 胞 気 動 脈 血 酸 素 分 圧 較 差 □□ . □□ Torr											
% 肺 活 量 □□□ . □ %													
判定 F (- + ++)													
※1 スパイロメトリ検査及びフローボリューム曲線検査については、最低3回以上実施した上で、最良の検査結果を記載してください。 ※2 これらの検査結果が記録されたグラフ、検査結果報告書を添付してください(必須)。													

診斷（意見）書

「びまん性胸膜肥厚用」

[illegible]

(注)独立行政法人労働者健康安全機構・同環境再生保全機構発行の「石綿小体計測マニュアル」の最新版に示された方法

※ 根拠となった資料の写しを添付してください。

添付資料	☐ 診療録 ☐ 病理検査記録 ☐ 臨床検査結果 ☐ X線写真 ☐ CT画像 ☐ その他()
------	--

令和 年 月 日

厚生労働大臣 殿

病院
診療所

医師氏名

印

診断（意見）書

患者の氏名 ・生年月日		(年 月 日生)	疾 病 名	
初診年月日		年 月 日	治 療 期 間	年 月 日 ～ 年 月 日
主訴及び症状所見				
診断	胸水確認 の経過等	・今回の胸水の出現 (□初回 ・ 回目) ・今回の胸水継続期間 ヶ月 ・最初の胸水出現からの経過年数 年 ヶ月 <検査の種類> □X線写真 □CT画像 □胸水穿刺 □その他()		
		悪性腫瘍・結核性胸膜炎・リウマチ性胸膜炎等との除外診断の有無 □有 □無		
	除外診断 の実施等	[鑑別根拠の内容]		
石綿肺の所見		□有 ・ □無	[所見の内容]	
胸膜プラーク の所見		□有 ・ □無	[検査等の種類] □X線写真 □CT画像 □胸腔鏡 □手術 □剖検 [範囲・程度]	
石綿小体・ 石綿繊維 の所見		□有 ・ □無 □計測等 未実施	・石綿小体 □有 □無 □計測等未実施 ・石綿繊維 □有 □無 □計測等未実施 [有の場合は以下に記入] 計測等実施機関 乾燥肺重量1g当たり 石綿小体 本 [検体採取場所] □上葉 □中葉 □下葉 標準的な方法 ^(注) による計測でない場合は具体的な方法: 気管支肺胞洗浄液1ml中 石綿小体 本 肺組織切片中 □有 (石綿小体 本 石綿繊維 本) □無	
呼吸機能障害		□有 ・ □無 □未検査	呼吸機能検査実施年月日 年 月 日検査 [%肺活量: %] ・ [1秒率: %] ・ [%1秒量: %] 動脈血ガス測定検査の有無 □有 □無 (年 月 日検査) [PaO2 : Torr] ・ [AaDO2 : Torr]	
療養の内容		□投薬 □在宅酸素療法 □その他()		
既往症・基礎疾患				
患者の石綿ばく露歴と発症(死亡)との因果関係に関する意見				
その他参考となる事項				

(注)独立行政法人労働者健康安全機構・同環境再生保全機構発行の「石綿小体計測マニュアル」の最新版に示された方法

※ 根拠となった資料の写しを添付してください。

添付資料	☐ 診療録 ☐ 病理検査記録 ☐ 臨床検査結果 ☐ X線写真 ☐ CT画像 ☐ その他()
------	--

令和 年 月 日

厚生労働大臣 殿

病院
診療所

医師氏名

印